

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2394700039		
法人名	株式会社 イズミ		
事業所名	グループホーム いわくらの泉		
所在地	愛知県岩倉市八剣町井ノ下20番地		
自己評価作成日	平成23年10月1日	評価結果市町村受理日	平成24年1月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.aichi-fukushi.or.jp/kaigokouhyou/index.html
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人あいち福祉アセスメント		
所在地	愛知県東海市中央町一丁目233番地		
訪問調査日	平成23年10月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所において特に力を入れているところは「絆」です。日頃から入居者様の「笑顔」を大切に、冗談をいいながらすごしております。また、地域のボランティアさんに定期的に来ていただき催し物などとおして交流を図っております。他には毎月恒例のモーニングへお出かけしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者は入居者との信頼関係をとても大切にしている。職員にもその思いが浸透しており、信頼関係を念頭に置き、日々の介護にあたっている。開設1年未満だが地元のボランティアの協力を多数受けている、入居者は地域の清掃活動への参加、日々の散歩、近所のスーパーへ毎日買い物に行き、積極的に地域との関わりを深めている。理念は管理者の若いときのスポーツをやってきた経験から「絆」の大切さを知り、職員の話し合いの上で理念とした。現在、事務所に掲示されている理念を、事業所に訪れる皆さんの目に付く場所に掲示すると共に職員で理念の共有と実践につなげることを期待する。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)＋(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	まだ未熟なところもあり、スタッフ全員が実践できるように心がけています。	管理者自身の経験をもとに考えた「人＋人＝心、心＋心＝笑顔、心＋笑顔＝「絆」を理念に笑顔と信頼関係を大切にする理念のを管理者・職員で共有し、実践する努力が見られる。	事務所内に他の連絡事項とともに掲示してあるため、玄関など誰にでも見える場所に掲示を望む。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	まだ地域の皆様に心開いて頂いていないところがあり、日常的に交流はできていない。ただ、定期的にボランティアさんとの交流を実施しております。	管理者自ら地域ボランティアの研修場所に行き、事業所への訪問を依頼しているため、月に2、3グループの訪問がある。お祭り、清掃活動への参加、散歩、買い物等を通して積極的に地域との交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	上記に同じくまだ理解や支援方法を活かしていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	10月18日に運営推進会議の時にさせていただきます。	区長(町内会長)、民生委員、包括支援センター職員、入居者、家族代表等参加し運営推進会議を開催している。 事業所内の活動内容を報告したり、区長から地域の行事などの情報を得ている	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	岩倉市の市町村担当者さんには密に連絡をし、取り組んでいる。	市の担当者と管理者は常に連絡を取り、事業所の実情を報告をしたり情報交換をしている。又、包括支援センター主催のケアマネージャー勉強会にも参加し、情報を得ている。岩倉市は徘徊SOSネットワークがあり活用している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでおります。	玄関ドアは、防犯の目的もあり夜間のみ(20時～5時)施錠している。日中は自動ドアの電源を切り手動で開閉をしている。 帰宅願望の強い人には職員と一緒に外を歩いて対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	努めています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	図っております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	させて頂いております。	利用料金は家族に直接持参して頂く。その機会を利用してコミュニケーションを計り家族の要望や意見を聞き又、運営推進会議では家族の意見や要望を外部者にも表し、運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングなどを実施しており意見を交換していますが、できなかった月もございます	業務ミーティング、ケアミーティングに全職員が参加できるよう、それぞれ月2回行ない、伝達の漏れを無くし、意見や提案が出やすい様に努めている。欠席した場合は連絡ノートを見て印鑑を押すルールになっている。	連絡ノートを見ていない職員もいるため、職員全員漏れなく情報を共有するための方法を話し合い、漏れのない対応を期待する。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	まだ未熟な点でおそろきになっているのが現状です		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	おそろきになっております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	おそろきになっております。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	できる限り努めているが、できないときもあり。	入居直後、家の様子が気になっていた入居者に対して毎日職員と自宅を見に行き、落ち着いたケースがある。お墓参りや馴染の人の所に行きたい希望者には職員や家族が同行し支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	努めています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ケースは少ないの、まだできていない。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	極力努めさせていただいております。	入居者一人ひとりに担当職員を決めて、本人の思いを聞きだせるようにしている。 誕生月には飼っていた猫を連れてきたり、外食に行くなど本人の希望を叶えるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	極力努めさせていただいております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	極力努めさせていただいております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族様との連帯があまりできていない。	入居前、入居後の詳細なアセスメント用紙があり、これに基づき介護計画を作成している。モニタリング表の中に入居者の満足度を評価する項目があり、家族からも意見を聞き、取り入れているが、一部の家族との連携が出来ていないとはいえない。	入居者がよりよく暮らすための課題やケアについて入居者・家族と関係者が話し合い、意見や要望を取り入れた介護計画をチームで工夫をして作ることを期待する。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	まだ完ぺきにはできていません。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	できているかはわかりません。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	極力努めさせていただいております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	極力努めさせていただいております。	認知症に詳しい名古屋の協力医が隔週で往診に来ている。 以前から受診していたかかりつけ医も、家族の協力により受診を継続している。入居後の医師の選択は本人、家族にまかせる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	極力努めさせていただいております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	まだできておりません。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	まだケースがなくそこまでにいたっておりません。	開設1年未満のため重度や終末期の入居者は現在はいない。 入居者の緊急時の対応は連絡方法も含めての一連の流れを書いた文書がある。	近くの医師による在宅医療の実現と、本人、家族の意向を十分確認しながら、重度化や終末期の対応についての方針を定め、話し合い等、準備を進められることを期待する。。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	訓練はできておりませんが、身体状況に記録し、指導しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練をさせて頂いております。	年に2回消防署立ち会いのもとで避難訓練と、年1回の自主避難訓練を行っている。その反省のもとに手順書を見直している。 寝たきりや車いすの入居者はいないが、重度の入居者を想定して夜間の避難訓練を実施している。	

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	極力努めさせていただいております。	居室の扉が一部ガラスになっており、プライバシーの保護のため、希望者にはカレンダーなどを貼り、外から見えない工夫をしている。本人の気持ちを大切に考え、職員は言葉掛けや対応に努力が見られる。。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	極力努めさせていただいております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	極力努めさせていただいておりますができませんときもあります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	極力努めさせていただいております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	極力努めさせていただいております。	栄養士が立てたメニューをもとに提供している。 入居者とともに買い物に行き、調理している。食事は職員も一緒に摂り、食後の皿洗いや食器拭きなど入居者が一緒にに行い楽しい雰囲気が伝わる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	極力努めさせていただいております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	極力努めさせていただいております		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	極力努めさせていただいております	排便チェック表を下にきめ細かな声掛けや、ケア支援を行ない、2名の入居者のリハビリパンツが取れた。一人ひとりの力に合った排泄パターンや習慣を見極め、適切な声掛けや支援が行なわれている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	極力努めさせていただいております		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	できておりません。	毎日夕方4時から入浴開始している。皆が寝静まってから希望する入居者にも対応している。排泄、入浴ともに女性には同姓介助を心がけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	極力努めさせていただいております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	極力努めさせていただいております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	極力努めさせていただいておりますができていないときもあります。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	極力努めさせていただいております。残念ながら全員はできておりません。	毎日、散歩や買い物に出かける。月に1回近所の喫茶店へモーニングに出かけ皆で楽しんでいる。中庭があり小道も整備されていて自由に出入りできる。庭の一角で作っているプチトマトを入居者自身が摘み取り仏壇に供えていた。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	経済負担を考え、あまりできておりません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙までできておりませんが、電話や面会をしております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	極力努めさせていただいております	台所が広いので3人一緒に家事をしていても狭さを感じない。中庭に面した窓が大きいので、日当たりがよく気持ちの良い食堂と居間になっている。 動物好きの入居者が多いため動物の絵が多く飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	極力努めさせていただいております		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	極力努めさせていただいております。	使い慣れた家具やベッドを持ち込み、入居者の好みの絵や思い出の写真、趣味の作品を飾る部屋も多く。希望者には畳の持ち込みもできる。各居室には温度計が設置され、エアコンの温度調節は体調を考慮して職員が管理している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	極力努めさせていただいております		